

令和8年度 修了考査受験に向けて



一体的能力開発[修了考査]

担当常務理事

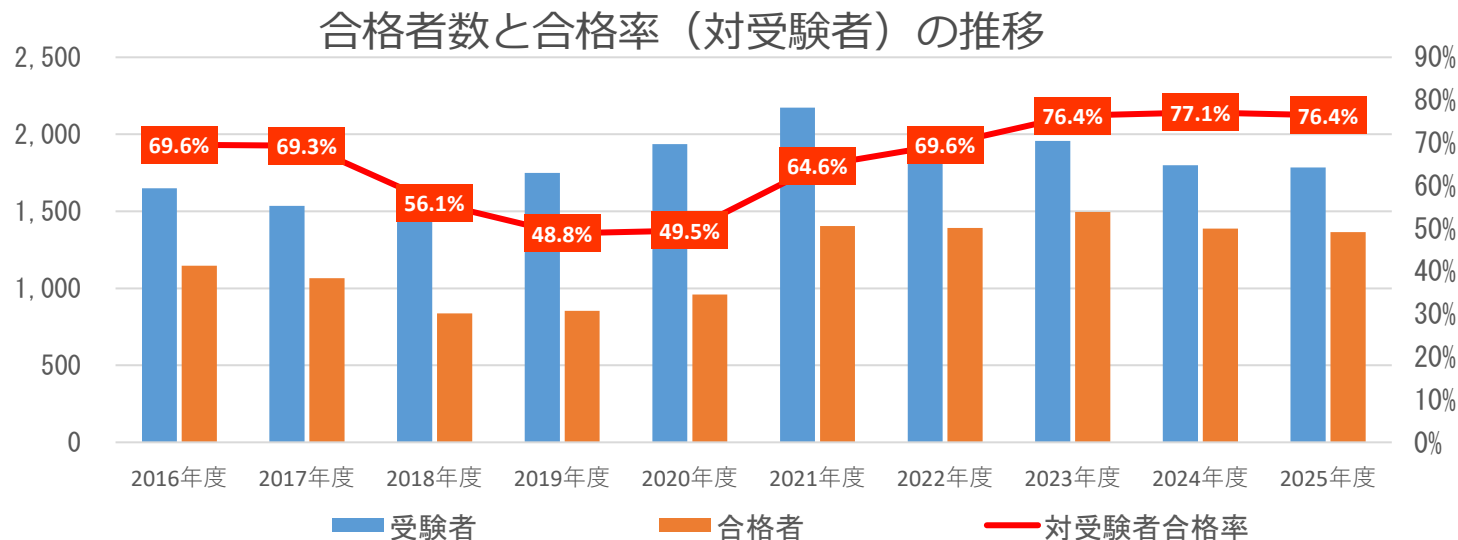
疋田 鏡子

1. 過去の修了考査の実施結果及び合格水準
2. 修了考査関連資料等
3. 修了考査受験に当たっての学習のポイント

1. 過去の修了考査の実施結果及び合格水準

過年度は7割程度の受験者が合格しています。2018年度から3年間合格率が下がった時期がありましたが2021年度から回復し、7割程度を推移しています。

7割程度の受験者が合格しますが、**修了考査に対する姿勢が緩んでしまえば合格率は容易に大幅に下落します。**是非気を緩めることなく、勉強に取り組んでください。



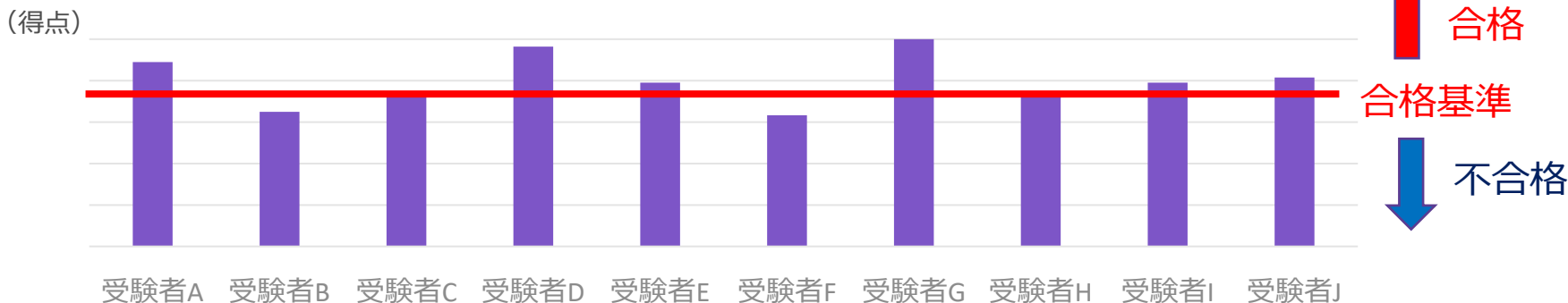
1. 過去の修了考査の実施結果及び合格水準

修了考査は絶対評価の試験です。

修了考査は、単なる実務補習所の卒業試験ではなく、実務経験や実務補習等によって、公認会計士となるのに必要な技能、専門的応用能力、品位及び識見が修習できているかを確認するための試験です。公認会計士として必要なレベルに達していれば、**相対評価ではなく、絶対評価で合格**になります。

修了考査の合格基準は、総点数の60%を基準として、運営委員会が相当と認めた得点比率（ただし、満点の40%に満たない科目が1科目でもある者は、不合格とすることができる）としています。設定された基準を超えた方が合格し、基準未満の方は不合格となります。受験者の皆さんが合格するか否かは、皆さんの得点次第であって、他の受験者の成績には、影響されません。そのため、全員が合格の可能性も、全員不合格の可能性もある試験ということになります。

<合否判定のイメージ>



2. 修了考査関連資料等

修了考査ウェブサイトでは学習の参考になる情報を掲載しています。

- ①過去5年分の試験問題、答案用紙、出題趣旨
- ②実務補習所テキスト及びeラーニング視聴サイト

<修了考査ウェブサイト>



②は実務補習生及びこれまでに修了考査受験資格を取得した全ての方（修了考査合格者を除く）が、最新版を無償で閲覧できます。

※修了考査は4月1日現在施行（適用）の法令等に基づいて出題がされるので、**最新の教材、最新の基準に基づいて、勉強するようにしてください。**

- ①の出題趣旨について、出題者がどういう意図で出題したのか、何を求めているのか、どういう能力を確認したいのかが、問題毎に細かく記載されています。**必ず目を通して、出題者の意図を踏まえた上で学習してください。**
- 今年度修了考査を受験する予定の方だけでなく、実務補習所のJ1生、J2生の皆さんも、例えば税科目など、実務で触れる機会の少ない科目を中心に、テキスト・eラーニングを活用し、修了考査の試験問題も実際に解いてみて、修了考査のレベル感を確かめてください。
- **実務補習所の考査にしっかり取り組むことが修了考査の結果にもつながります。**10回の考査を前向きな学習の機会ととらえて、取り組んでください。

3. 修了考査受験に当たっての学習のポイント

- 問題文の指示を読み飛ばさないでください。
「小数点以下第●位を四捨五入」等は正確に理解してください。
- 解答に当たっては、業務上第三者に提出する書類と同様、読み手がいるということを意識して論理に飛躍がないかどうかを十分に検討してください。主語や目的語が明確でない解答、知っているキーワードのみを羅列している解答も散見されます。
- 冗長な表現や誤字脱字に注意しながら丁寧に解答を書いてください。
- 会計基準等の専門用語の理解不足な解答、記載が不正確な解答もありました。
- 過去問及び出題趣旨に目を通しレベル感を知り、次の学習につなげてください。

全ての受験者が
無事合格することを願っています。

皆さんの健闘を祈ります。

●● 信頼の力を未来へ
jicpa

 日本公認会計士協会